



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Seiji Igarashi 〒659-0014 6-16-402 Midorigaoka Ashiya .JAPAN
 Mail : PX100151@nifty.com Tel 0797-22-7852
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ウィチャン・ブーンマパジョン(タイ)
 「信念あるミッション(使命・目標)」 "Mission with Faith"
 アジア地域会長 エドワード K.W. オング(シンガポール)
 「愛をもって奉仕しよう」 "Through Love, Serve"
 西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北)
 「あなたならできる！きっとできる」
 "You can do it ! Yes, you can"
 六甲部部長 進藤啓介(神戸クラブ)
 「-YMCAと共に- 次世代を育み、地域に仕える」
 芦屋クラブ会長 五十嵐政二
 「絆を太く、強く」

会 長 五十嵐政二
 直前会長 福原吉孝
 副会長 上野恭男・堤 清
 書記 柏原佳子・上野恭男
 会計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部交流担当主査 福原吉孝

12

Dec. 2015
 223号

EMC について

EMC 委員 島田 恒

EMC とは、ワイズ用語集に従えば、Extension, Membership & Conservation の略で、新クラブを設立すること、新会員増強と意識高揚をはかること、とされている。日常活動に絞れば、会員を増やし活力ある活動を実践することである。

われわれ芦屋クラブの現状を確かめると、現在会員17名(広義会員1名含む)となっていて、残念ながらこしばらく増強されていないのが現実である。かつて3名の紹介を得てブースター賞をいただいたことがあるが(ワイズからいただいた私の唯一の勲章(笑))うち2名は退会されてしまった。特に昨今は新規会員が獲得できていないので、委員を仰せつかっている私としては反省しなければならない現実である。ワイズはいうまでもなくボランティア活動であるから、よるこんで参加し貢献しようとするよるこびがなければ成り立たない。それには、何よりも YMCA やワイズのミッション(活動の目指すもの)に共感していただくこと、そしてメンバー同士の人間関係を高め楽しいものであることが不可欠になるのであろう。

このように考えると EMC は正にクラブ全体の活力にかかっている。われわれ自身が充実することによって、加わってくださる方を見出し、クラブ参加に招きの輪を拡げたい。

今月の聖句

「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである」

<ルカ福音書 2:10~11>

12月クリスマス祝会プログラム

と き: 2015年12月23日(水・祝) 18:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)

総司会: 柏原佳子・福原吉孝

開会点鐘	五十嵐政二会長
クラブソング斉唱	一同
第1部 礼拝の部	進行: 島田 恒ワイズ
奨励	塚本潤一牧師
来賓祝辞・挨拶	
第2部 ミュージックアワー	
演奏	ヒルビリー・オーサムズ
カントリーダンス	スパイシーエンジェル
第3部 会食・歓談	五十嵐政二会長
ゲスト・クラブ紹介	
アピールタイム	
第4部 パラダイスアワー	
オークション	進行: 上野恭男ワイズ
ミュージック&ダンスタイム	
フィナーレ	
YMCAへ献金贈呈	五十嵐政二会長
閉会挨拶	福原吉孝直前会長
閉会点鐘	五十嵐政二会長

11月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	14名	出席者	14名	
ビジター	名	メイクアップ	名	
ゲスト	1名	合計	14名	
メネット	1名	在籍者	17名	
コメント	名	(内広義会員1名)		
合計	16名	出席率	87.5%	
				ニコニコ
				11月 13,271円
				累計 74,506円

11月第1例会報告

日時：2015年11月18日(水)19:00～21:00
場所：ホテル竹園 (敬称略)
出席者：五十嵐会長、上野恭男、柏原佳子、桑野友子
権 甲植、篠坂幸彦、島田 恒、堤 清、都筑省三
羽太英樹、坂東幸子、福原吉孝、渡辺倫子(各メン)、五十嵐かほるメネット、藤田良祐連絡主事
ゲスト：味口 純(余島3回生)

早いもので12月の例会は X'mas 祝会。通常の第一例会は今回で本年最終となる。当日、あいにく足元の悪い雨天となり、今回で二回目の司会を仰せ付かったが何故か前回も大雨だった、。受付を終え、一步会場に足を運ぶと純白のテーブルクロス各人のセッティングの前にはイチリン挿しの如く真っ赤なイチ(一個)リングが和やかなムードを醸し出していた。定時に五十嵐会長の開会点鐘によりスタート。羽太ワイズの聖書朗読に続き、ワイズソングの斉唱。上野ワイズによる食前感謝ではフランスにおける悲しい出来事に哀悼を、。食事配膳中の際、柏原ワイズよりテーブルの立派なリングは(もりおかクラブ)様からの恒例のクリスマス プレゼントで実にタイミングよく(例会時に届けられたとの説明があった。(もりおかクラブ)様に感謝！ 和やかな食事会を終えYMCAユースリーダー・味口 純君(三回生)により(全国YMCAリーダー研修会)参加の報告がなされた。「御岳・日和田高原キャンプ場にて 全国から70名(神戸YMCAから10名)が参加。キャンプ設営・野外料理の体験し、夜遅くまでYMCA活動について話し合い充実した研修だった。来年は余島キャンプ場で開催が決まっている。ワイズメンズクラブの皆さんの支援に感謝しております。」引き続き本



日のメンバースピーチであるハスキーボイスでMELLOWな語り口の権 甲植ワイズの登場。(韓国に親しむ)をテーマに韓国の現状 日本との文化の違い 相手の持つ文化から自国の文化を見直す事の大切さを韓国映画と日本映画等を、陶磁器に表れる文化の違い等を事例に楽しく聴かせて戴いた。その後フリートークに入り多くの質疑応答がなされたが時間少なく、。続いて五十嵐会長より第二例会の報告、承認、クリスマス祝会プログラムでのオークション商品の出品依頼を各メンバーにされた。その後柏原ワイズより先日来、六甲部から各クラブに要請があった(神戸YMCA留学生達への毛布の提供)の芦屋クラブの最終結果枚数は、六甲部クラブ合計35枚(うち、芦屋クラブが15枚)となり支援して戴いた方々に感謝の言葉があった。例年11月第一例会はゲスト・ビジターのご出席が無くメンバー

だけのケースが多いとの事だがその分逆にかた苦しくなくアットホームな和やかな雰囲気の中で会員数の少ない我がクラブの和気あいあいの仲間同士の交流も時には良しと考えて、。と感じ、今月が誕生日のメンバーを祝しジャスト定時閉会点鐘となった。篠坂 幸彦



「韓国に親しむ」

権 甲植

来年5月に予定されている韓国訪問への準備プログラムの一環として、今日の主題「韓国に親しむ」は大変大切な主題と思えます。事実、日本と長い歴史的关系を持ちながら、はたまた多くの在日韓国・朝鮮人と共に暮らしていながら、その人たちの日常生活の挨拶の言葉さえも知らないという不思議な現状が長い間つづいています。今日は韓国と日本の文化を比較することによって、その違いを通して「韓国に親しむ」為の大切な事柄の一片を共に考えてみたいと思います。

日本と韓国の文化の違いを端的に表現するなら、「縮み志向の文化」と「広がり志向の文化」の違いと言えるでしょう。俳句や短歌、川柳等に代表されるように、人の想いや感情、表現、描写を限られた単語をもって短く表現しようとする。その代表的なものが「盆栽」だと言えるでしょう。目の前の高い山や木や池、岩、木々等の自然を、ちいさな盆栽の中に縮めて再現し、縮められた盆栽の自然の中に宇宙すら探し、表現しようとする。

それに比べて韓国は自然を手元に引き寄せるのではなく、自分が自然の中に出かけ、広い自然の中に溶け込もうとします。高麗の詩聖・李奎報の「四輪亭記」などにはその傾向が表れています。六尺の大きな車輪に屋根と4本の柱だけの素朴な荷車に乗って山や木々を駆け巡り、その中で、自然と共に生きたいと歌っています。

日韓の違いをもう少し異なった視点から表現すると、それは「ワサビ」と「トウガラシ」の違いとも言えるでしょう。この二つはともに同じ香辛料でありながら、食べた瞬間その辛さを「ワッ！」と天を仰ぐ「トウガラシ」と、食べた瞬間「ムッ！」と下を向いて鼻に残る辛さをしばし我慢する「ワサビ」の違いと表現することが出来ます。

この様に異なる文化を持つ隣国・韓国に「親しむ」為に私たちはどうすればよいでしょうか。それは、最初に自国の価値観をさて置いて、相手の文化の座に自らを置いてしまうことだと言えるでしょう。当然のことながら自分の持っている尺度で、相手の文化、歴史や価値観を計らない事なのです。韓国の人達の座標を共有することから始まる事なのです。そしてそこから見える景色は、今までの其れとは随分と異なり、その歴史、文化、価値観の多様性に驚きを伴い、そこから見たものは、それまでの歴史観、価値観等の健全な形成に大変良い事と言えるのです。そしてこれは韓国の人達にも言えるでしょう。その事が「韓国に親しむ」為のキーポイントなのです。そのことに留意しながら、

さあ、「韓国に親しむ」のを始めましょう！

NHK杯に寄せて

柏原佳子

グランプリ・シリーズ NHK 杯で羽生選手が演技を終えた時、私はTVの前でスタンディング・オベーションをしていました。「陰陽師」がそのまま乗り移ったかのような！ 凄みのある演技に涙が頬を伝いました。

NHK杯を神戸ポートピア・リンクで観たのは、はるか昔……。ご存知ですか？ 羽生選手の現在のコーチ、ブライアン・オーサーは、トリプル・ルッツ(3回転ルッツ・ジャンプ)の技でその年のオリンピック金メダリストになりました。ブライアン・オーサーと元全日本チャンピオン五十嵐文夫選手が2人揃って、トリプル・ルッツをエキジビションで披露した時の迫力を、今まざまざと思い描くことが出来ます。私の横にはスケートの世界にはまり込んでいった娘が目を輝かせていました。

現在はショートとフリーのみの採点で順位が決められますが、昔はコンパルソリーという8の字の図形を描くことが1点、ショート0・4フリー0・6の2点でジャッジは24位～1位の順序を決めなければなりません。調整に大巾に時間を費やされる為、待っている選手は寒かったです。コンパルはエッジをアウトとインで滑るのが基本です。TVに映らず地味で重苦しく、練習にも、試合にも大変な時間と労力をジャッジと選手に与えたためか、20年ほど前から競技されなくなりました。

話を2004年2月の芦屋クラブ第1例会に移しましょう。諸事情から、近くのクラブへの転会を望んでいた私にとって、芦屋クラブに決めるきっかけがありました。故町永昭五ワイ

ズが芦屋クラブ会長として、平松純子国際ジャッジをゲストスピーカーとして例会に招かれていたのです。平松純子氏は、間もなくジャッジの採点形式が変わると最新情報の講演をされました。資料にはびっしりと現在のジャッジ採点基準が記載されていたと記憶しています。「懐かしい方のお顔が嬉しいです」「昔は全て個人負担でご両親は大変だったですね！」と何度も相槌を促され、お声をかけていただきました。

今回のNHK杯では、羽生選手はショート106.33、フリー216.07のスコアは基礎点に技術(ジャンプ、スピン、スケATING、スピード等)芸術点として、音楽との調和(衣裳、振付)、表現力等、などが加算されたようです。

なお且つ、時々どうして？と思う順位がありますが、ヨーイ・ドンで決まるものではないことも確かでしょう。今は観る側も目が肥えています。ジャッジもあまりにも変な点数を出す資格を失うこともあるそうです。ジャッジも人の子です。今回の羽生選手の演技には思い切り世界最高の点数を出せて気持ち良かったと思います

男子のスケートは4回転があたりまえの世界に突入し、なお進化しようとしています。

選手を見守るコーチの顔は少々お歳を重ねられただけで、そこだけは時間が止まったようで懐かしいです。

羽生結弦選手、感動をありがとう！

CHALO INDIA 「カタクの夕べ」

「芸術の秋」最後の日曜日、芦屋ルナホールで開催されたRuchika Indian Dance Academy主催のインド舞踊「カタクの夕べ」に五十嵐会長・かほるメネットのお誘いで柏原ウイメンと参加しました。ロビーにはインドの服やアクセサリー・食材等の物産が並べられており、価格が驚きの安さ、少し買ってみました。

席は舞台から2列目、ダンサーのダイナミックかつ繊細な手や足の動き、顔の表情また滴る汗も見える特等席、楽器の種類は分からないけど躍動感あふれる3名の伴奏者の歌やドラム、共に素晴らしい夕べを過ごしました。1月の第1例会 桑野友子

大変に楽しく、美しい舞踏でした。鑑賞したあと丸1日くらい、タカカ、テケテケ、テッテ…まるで英語の発音特訓でもしているような音が自分の体中を駆けめぐっていました。リズム、フットワーク、指の先までゆきとどいた表情、大勢の観客ひとりひとりに語りかけてしまう目の動き、色鮮やかな蝶が狂ったかのように廻るスカートの広がり、とても私等には追って行けるものではありません。休憩なしの2時間、ダンサーと観客ではなく、一つの世界に取り込まれて、ユーモアは全人類共通なのだと思います。思い知らされたひとときでした。今になって知ったのですが、1月に芦屋クラブにきてくれるナリニさんはこのカタク舞踏の超一流のダンサーです。もっともっと大勢の人達に観て欲しかったと今、私の心は叫んでいます。 五十嵐かほる

畠中光成ワイズを囲む忘年会

12月2日、西宮の酒蔵とおりに面した大関酒造で、畠中ワイズが主催する忘年会が開かれ参加しました。芦屋クラブからは五十嵐会長夫妻、福原ワイズ、柏原書記、そして上野が2部制の午後の部に参加しました。

畠中ワイズの衆院への決意表明があり、続いて14時から工場見学です。白いガウンを身にまとい、頭にキャップをかぶり総勢36名が2班に分かれてスタート。

米は山田錦を使用して70%から35%に精米し、それぞれ違った味わいの日本酒が出来る過程を、係りの方の説明を聞きながら回ります。35%だと65%がヌカになるわけで、モットイナイが頭をよぎります。しかし酒飲みはこれを大吟醸と称し高価で購入し、たしなむのです。

さて、最終工程でモロミをしぼった透明な原酒を飲ませてもらいましたが、アルコール度数20度ということでしたが参加者はそろっておいしいを連発していました。その後更に工程があり3カ月後の出荷となるそうです。

横綱はどん詰まり、先がある大関に期待する、との社名の由来を聞き300年を超える社歴も納得でした。



見学の後は隣接の日本家屋での宴会。柴田巧参議院議員も同席した宴で、日本酒を日ごろ飲まない上野もたくさん飲ませていただきました。 上野恭男

第2例会議事録(抄)

YMCAニュース

と き: 2015年11月25日(水)

と ころ: ホテル竹園芦屋ララー 10:30分~20時

出席者:五十嵐政二会長、福原吉孝、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、島田 恒、篠坂幸彦、羽太英樹、藤田良祐(9名)

議 題

- 1) 第1例会の検討
 - ・1月20日(水) インド舞踊
 - ・2月17日(水) 次期クラブ役員選考の事務例会及び、羽太メネット腹話術
 - ・3月16日(水) カントリーミュージックの話 中進一郎氏
 - ・4月20日(水) 盲導犬
 - ・5月16日(水) トリニダードパゴ・スチールバンド演奏
 - ・6月15日(水) 未定
- 2) 12月第2例会は12月16日(水)開催
オークションの持ち寄り及びクリスマス祝会最終打合せ
- 3) 12月例会の打ち合わせ
 - ・クリスマスアピール訪問は5クラブ各2名で決定。チラシを持参する。会費の1/3をクラブより助成。
 - ・昨年のタイムスケジュールに基づき藤田連絡主事が作成・最終的には出席者が解ってから調整する
 - ・他クラブ配布用チラシ・印刷を桑野ブリテン編集長、当日プログラム 上野書記
- 4) 10月度会計報告、チャリティーランチデミの店の収支報告を羽太会計より承認
- 5) その他
 - ・12月13日(日)YMCA神戸大丸前街頭募金は、自由参加とする
 - ・韓国旅行について来年5月を3月も含め検討する
- 6) 報 告
 - ・YMCA留学生毛布支援実績は六甲部で35枚、うち芦屋は15枚提供。
 - ・DBCクラブもりおかクラブよりリンゴ1箱頂く。
 - ・BF古切手整理はYYフォーラムまでに日時を決める 福原BF・交流主査

~~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*

今後の予定

- 六甲部各クラブ・クリスマス祝会
- さんだクラブ: 12月5日 18:00~
JR三田駅前キッピーモール
 - 神戸クラブ: 12月12日(土) 18:00~21:00
ガルニエ(旧居留地)
 - 西宮クラブ: 12月12日(土) 17:00~19:30
オーシャンビュー須磨
 - 神戸西クラブ: 12月12日(土)12:00~15:00
グリーンヒルホテル:
 - 神戸ポートクラブ: 12月10日(木) 20:00~
グリーンヒルホテル
 - 宝塚クラブ: 12月12日(土) 18:00~21:00
宝塚ホテル
 - 神戸学園都市クラブ(12月12日)

- 留学生交流会 2月3日(水) ブルーミンメド
- YYフォーラム 2月6日(土) 栄光教会

神戸 YMCA チャリティーラン開催

11月3日(火・祝)に神戸しあわせの村で第18回神戸YMCA チャリティーランが開催されました。参加232チーム、ランナー数 1,036 名、ボランティア182名、その他保護者などを含めて約 1,600 名あまりの方々が集っていただきました。チャリティーランの収益は心身に障がいのある子どもたちのために用いさせていただきます。

第4回 KOBE 中高生 Sweets コンテスト開催

11月8日(日)にユースプラザ KOBE・EAST で4回目となる KOBE 中高生 Sweets コンテストを開催しました。10組の中高生が「あなたのまち神戸」をテーマに趣向を凝らしたオリジナル創作ケーキを持ち寄り、プレゼンテーションと審査委員による試食審査を行いました。中高生の目線で見た神戸の魅力と各自の思いが詰まったケーキはとても美味しく、笑顔が溢れる1日となりました。

世界 YMCA/YWCA 合同祈禱週、開催

今年の合同祈禱週は11月8日(日)から14日(土)まで開催され、世界中のYMCA・YWCAで祈りを共にしました。今年のテーマは「Let there be Hope ~ 希望あれ ~」で、世界が無数の悲劇に苦しんでいる事実を覚えながらも、希望を持ち続けることの大切さを学びました。

YMCA セミナー・憲法を考える集い 合同開催

11月13日(金)に神戸教会において、平和を考えるワークショップ「戦後70年に平和を想う~本当の積極的平和とは~」が開催されました。大阪女学院大学の奥本京子さんをゲストスピーカーに迎え、ワークショップを通して「積極的平和」について体験的に学ぶ機会になりました。

今後の予定

神戸 YMCA YY フォーラム

「ブランドの再生~神戸 YMCA の宝探し~」をテーマとして、今年度の YY フォーラムが開催されます。是非ご参加ください。

日 時: 2月6日(土)13:00~17:00

場 所: 日本キリスト教団神戸栄光教会(JR 元町下車5分、地下鉄県庁前下車すぐ)

~~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*

編集後記: 師走、紅白歌合戦の出演者の発表に続き、今年の流行語大賞の発表、日本・世界のこの1年の10大ニュース等々、年の瀬ならではの報道が続きます。皆様の1年はいかがでしたか? 今月号にも旬のエッセーを掲載することが出来ました。次号からも皆様の楽しい投稿・写真等をお待ちしています。

六甲部の最後を飾る我クラブのクリスマス祝会に多くのピジター・ゲストを招いて1年の締めくくりとしたいものです。
桑野友子